

早稲田大学日本代表選手壮行会 兼 第5回関東パーク0ツアー2014 2014年7月5日 東京都練馬区

練馬に居を構える城北中央公園。幾多の柵が嫌らしく参加者たちの行く手を阻んだ。

早稲田大学日本代表選手壮行会
兼 第5回関東パーク0ツアー
2014年7月5日 東京都練馬区

成績

L 2.5km	
1 細淵晃平	0:15:32
1 戸上直哉	0:15:32
3 石野夏幹	0:15:34
3 寺垣内航	0:15:34
S 1.7km	
1 小林 遼	0:09:46
2 寺垣内航	0:10:19
3 橋孝 祐	0:10:59

早稲田より旅立つ5人の戦士

今年度、早稲田大学より5名の選手が、世界各地で行われる大会に日本代表選手として選出された。今大会は、その壮行会を関東パーク0ツアー対象レースを兼ねて開催された形である。

世界に挑むのは以下の5名だ。

尾崎弘和(早稲田 4)

WOC, AsOC, WUOC 代表

渡邊彩子(早稲田 4)

WUOC 代表

澤口弘樹(早稲田 2)

JWOC 代表

中村茉菜(早稲田 2)

JWOC 代表

見目憲秋(早稲田 2)

AsOC (U20) 代表

冴えない天気

前日の夜よりシトシトと降り続いていた雨は、ついに止むことなく当日の朝を迎えてしまった。

競技に影響があるほどとは思えなかったが、雨による事前申込者の参加辞退、当日参加者の減少などが懸念され

た。

心配をよそに

しかし、それらの心配は杞憂に終わった。L,S合わせて、参加者数は延べ110人。雨の影響はほとんど無かったと言ってよいだろう。

むしろ、熱中症の危険性が下がったこと、競技者と園内歩行者との接触の恐れが緩和されたことを考えると、これは恵みの雨だったのかもしれない。

Lコースは大接戦

Lコースはパーク0ツアーらしい大接戦となった。

4名が2秒の中に殺到し、1位、3位がそれぞれ2名ずつの同着となった。

対照的に、ツアー対象レースとはなっていないSコースでは、だいぶタイムにバラつきが見られた。

Lコースを走った後にSコースを走った競技者が多かったわけだが、1本目で得られた情報を2本目に生かされたかどうかが明暗を分けたのかもしれない。

柵に苦しめられた参加者たち

城北中央公園内には、通行不能の柵が数多く見られる。とりわけ今回のコースは、コースプランナーの藤村がその柵を上手く利用してルートチョイスに負荷が掛かるようにしていたため、多くの参加者が苦しめられたようだ。

最高の巡行を叩き出しながら、12.3%ものミス率を記録してしまい、2名にわずかながら遅れを取った寺垣内。その寺垣内をはじめとし、上位9名中4名の選手がミス率10%オーバーである。パーク0にしてはかなり多いと思う。

いくつか組み込まれていたロングレッグでは、特に丁寧なルートプランニングが要求されたようで、そこで20秒単位のミスをしてしまった参加者が多く見られた。

代表選手たちには一抹の不安

すでに国内にはいない尾崎を除き、他4名の代表選手たちの成績が気になるところだが…。

Lコースでは、70人中、見目11位、澤口19位、中村30位、渡邊はペナ(タ

イムは34位相当)という成績であり、見目以外は少し物足りない結果となってしまった。

本番での奮起が望まれるところだ。

光るものを見せた新人の有賀

代表選手たちが軒並み振るわない中で、キラリと光るものを見つけたのが早稲田大学1年の有賀である。

1本目のLコースで12位。これだけでも新人としては十分凄いのだが、彼は何と、2本目の同コースで0:15:20というタイムを叩き出しているのである。2本目の利があるとは言え、これは優勝者の細淵より12秒も早いタイムだ。

彼は先の関東インカレでも新人クラスで優勝しており、陸上部上がりの凄まじい走力と、抜群のセンスには驚かされるばかりである。

彼が先輩たちの背中を追い掛けて代表選手となる日も、そう遠くはないのかもしれない。

(小山達之)